

## あの地震は何だったのか…

## 「地域の皆さん」と研究者が共に考える「きっかけ」を

平成28年熊本地震は甚大な災害を引き起こしました。震源域には日奈久断層と布田川断層が知られ、長期評価や予測震度推定が行われていました。震度7が2回観測され、広域的に地震活動が活発化するなど、災害対策や活動推移予測で検討すべき課題も浮き彫りになっています。今回の災害の特徴や、過去の地震災害、長期評価、事前即時予測、地殻活動、復旧復興、災害情報など幅の広い情報交換や議論を行い、地震災害の軽減に向けた研究の展望について検討を行います。また、最新の研究成果を社会にお知らせすることで、将来の地震災害の軽減に向けた社会環境の醸成を目指します。本年4月に発生した熊本地震において「これまでに実施してきた研究活動と成果」を被災地域と共有することで、今後の災害・防災対策を共に考えます。

～災害の軽減に貢献するための  
地震火山観測研究計画における研究活動～

▶とき

平成28年10月26日(水)

▶ところ

熊本市国際交流会館 6Fホール

〒860-0806 熊本市中央区花畑町4番18号  
TEL:096-359-2020 FAX:096-359-5783

## 第1部

## 研究報告(研究者・研究機関向け) [9:50~12:30]

開場 [9:30]

[9:50~9:55]

はじめに 清水洋(九州大学理学研究院)

## 1 九州中部の歴史地震(コンビーナ:黒石裕樹)

[9:55~10:10]

前近代における九州中部の地震

鳥津亮二(八代市立博物館未来の森ミュージアム)

[10:10~10:25]

公文書にみる1889年熊本地震

中村元(新潟大学人文社会・教育科学系)

2 長期評価・強震動予測・被害予測・即時予測  
(コンビーナ:関口春子)

[10:25~10:40]

布田川・日奈久断層帯の長期評価

佐竹健治(東京大学地震研究所)

[10:40~10:55]

布田川・日奈久断層帯の地震動予測と被害予測

佐伯琢磨(防災科学技術研究所)

[10:55~11:05]

熊本地震震源断層のGNSSによる即時推定

川元智司(国土地理院)

[11:05~11:20]

熊本地震による斜面崩壊

千木良雅弘(京都大学防災研究所)

— 休憩 [11:20~11:30] —

## 3 地殻活動(コンビーナ:高橋浩晃)

[11:30~11:45]

九州中部の地殻変動とテクトニクス

中尾茂(鹿児島大学理工学研究領域)

[11:45~12:00]

九州の地殻構造と地震活動

相澤広記(九州大学理学研究院)

[12:00~12:15]

熊本地震の火山への影響評価

藤田英輔(防災科学技術研究所)

[12:15~12:30]

総合討論

— 昼休み [12:30~13:30] —

## 第2部

## 研究・活動報告(行政・一般向け) [13:30~16:45]

司会: 兵庫県立大学環境人間学部

准教授・災害部会長 木村玲欧

[13:30~13:35]

はじめに 地震・火山噴火予知研究協議会議長

平原和朗(京都大学大学院理学研究科 教授)

## 1 理学的見地から

[13:35~13:55]

熊本地震が引き起こされた背景

九州大学 大学院理学研究院 附属地震火山観測研究センター  
センター長・教授 清水洋

[13:55~14:15]

熊本地震発災後の観測活動～臨時観測から知る余震活動

九州大学 大学院理学研究院 附属 地震火山観測研究センター  
(島原) 准教授 松本聡

[14:15~14:35]

熊本地震による地表の変状

熊本大学大学院 自然科学研究科

附属減災型社会システム実践研究教育センター (IRESC)  
准教授 鳥井真之

— 休憩・時間調整 10分 [14:35~14:45] —

## 2 災害対応の見地から(研究組織・機関)

[14:45~15:05]

火山研究センターの被害と活動～地域資源としての研究施設の役割～

京都大学大学院理学研究科付属地球熱学研究施設 火山研究センター  
(阿蘇) 教授 大倉敬宏

[15:05~15:25]

熊本被災史料レスキュー活動について

熊本大学文学部、熊本史料救出ネットワーク 教授 稲葉継陽

## 3 災害対応の見地から(行政・公共機関)

[15:25~15:45]

ライフライン復旧への取り組み～通信基盤の早期復旧を目指して～

NTT 西日本熊本支店 設備部長 山本清

[15:45~16:05]

災害報道への取り組み～地域のよりよい災害対応の実現を目指して～

熊本日日新聞 熊本総局次長 小野由起子

[16:05~16:25]

被災者生活再建への取り組み～熊本県生活再建支援システムの実現～

新潟大学危機管理本部危機管理室 教授 田村圭子

[16:25~16:35]

総合討論

[16:40~16:45]

おわりに 谷岡勇市郎(地震・火山噴火予知研究協議会 戦略室長、  
北海道大学教授)

— [16:45ころ] 終了予定 —

入場無料

事前申し込みは特に行いません。第1部・第2部とも  
広く皆様のご来場をお待ちしています。

お問い合わせ

東京大学地震研究所 地震・火山噴火予知研究協議会

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/YOTIKYO/>

TEL:03-5841-5712 (月～金 午前10時～午後4時)

主催: 東京大学地震研究所 地震・火山噴火予知研究協議会

共催: 熊本大学 減災型社会システム実践研究教育センター